



学校だより

宮古島市立北小学校
第2号
文責 呉屋 武志

豊かな学びは【聴くこと】から始まります！

学習規律の中で何が一番大切かと問われれば、迷わず【聴くこと】を挙げます。

授業は「静寂」から始まります。実は、活発に発表できるクラスを創る近道は、発表スキルを鍛えることよりも、「聴くことのできる児童」を育てることにあります。

「口は1つだが、耳は2つある」これは、話すこと以上に聴くことが大切であるという教えです。また、目は閉じることができても、耳は閉じることができません。それほどまでに、私たちは常に周りの音や声から学びを得ているのです。

本校では授業の始まりに、目と口を閉じ耳を澄まして【黙想】をしています。しかし、姿勢が乱れていたり、うす目をあけていたりすると心が落ち着かないまま授業に突入し、せっかくの学びのチャンスを逃してしまいます。元アメリカ大統領のオバマ氏は「アメリカは命令から始めることが多すぎる。まずは聴くことから始めるべきだ」と語っています。「手にあるものを置き、相手に心を寄せて聴く」まず、この姿勢を北小学校では育てていきたいと考えています。

寝る子は育つが、聴く子も育つ



29回目の完走メダルの寄贈

「あきらめないこと（森岡）」
「毎日の生活をしっかり行うこと（金子）」

長きにわたり、本校にトライアスロンの完走メダルを寄贈してくださっている埼玉県「森岡秀文」さんが、6年生に向けての熱い講話を行ってくださいました。今年で引退を迎える「金子」さんも共に温かいメッセージを届けてくれました。

今ある幸せに感謝すること、そして時間を大切にすることの尊さを語る森岡さんの言葉は、子供たちの胸に深く刻まれたようです。

毎年「385（みやこ）」のゼッケンで力走される森岡さん。来年の大会でも、その勇姿を応援できるのが今から楽しみです。

また、本校の「下里和也」教諭もリタイアが続出する過酷なレース展開の中、見事に完走を果たしました。まさにストロングマンです。

※新聞掲載：4/21



入学式の児童代表あいさつ

1年生の皆さん。ご入学おめでとうございます。

北小学校の先生は優しいので安心してください。毎日食べる給食も、とてもおいしいです。広いプールで泳いだり、運動場で元気に遊ぶこともできて楽しいです。

これから一緒に、たくさん遊んで、たくさん学んでいきましょう。もしも、困ったことがあれば、僕たち6年生に聴いてください。優しく教えます。

「児童代表 前泊 春樹」



6年生は、1年生に優しく寄り添ってあげてください。

<朝の立哨活動>

昨年、PTA役員を務められた平良勇樹さんには、多忙な中、朝の立哨活動にご尽力いただいています。特に、給食室側の車両通行が激しい地点を担当していただき、子供たちは安心して登校することができています。学校の安全を守る力強いサポートに、心より感謝申し上げます。